

the earlier stages of gametophyte development in Marchantiales. J. Hattori Bot. Lab. 23: 148-191. Isoviita, P. 1966. Studies on *Sphagnum* L. I. Nomenclatural revision of the European taxa. Ann. Bot. Fenn. 3: 199-264 Klebs, G. 1893. Über den Einfluss des Lichtes auf die Fortpflanzung der Gewächse. Biol. Zbl. 13: 641-656. Meyer, S.L. 1941. Physiological studies on mosses. II. Spore longevity in *Physcomitrium turbinatum* and *Funaria hygrometrica*. Bryologist 44: 67-75. Nishida, Y. 1970. Studies on the differentiation of the protonema in two species of the Sphagnaceae. Bot. Mag. Tokyo 83: 249-253. O'Hanlon, S.M.E. 1926. Germination of spores and earlier stages in development of gametophyte of *Marchantia polymorpha*. Bot. Gaz. 82: 215-222. Wada, K., Y. Hirabayashi & W. Saito 1984. Light germination of *Anthoceros miyabeanus* spores. Bot. Mag. Tokyo 97: 369-379.

○高等植物分布資料 (114) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (114)

○イヅカニコウモリ *Cacalia amagiensis* Kitam. 1984年11月11日, 神奈川県植物誌調査会の昭和59年度第13回の合同調査が小田原市早川・根府川地内で行なわれた。根府川地内のゴルフ場への道路を林道に入った1地点で、高橋がフキに似た葉をつけた一品に注目して、これをイヅカニコウモリと断定した。附近を探したところ、扁円形の葉で葉脈が凹み、葉柄に稜が出て、地下走出枝を持った単葉のものが30株位あった。小さい派出尾根を廻った沢で更に調査を行い、長谷川が林道から 100 m 位離れた杉林で、モミジガサと混生し、茎葉が2枚ずつあり、見事に花序(種子)を付けている約30株のイヅカニコウモリを見出した。産地は星ヶ山 (814.6 m) の海拔 400~450 m である。

これまで北限産地とされていた伊豆八幡野(杉本: 静岡県植物誌, 1984) から直線距離にして約 30 km の地である。伊豆特産と考えられている本種の神奈川県での発見は特筆すべきものと考ええる。なお一株を標本とし、神奈川県立博物館 (KPM) に保管した。当小報の発表を勧められた神奈川県植物誌調査会顧問、初山泰一先生にお礼を申し上げる。

(神奈川県立博物館 高橋秀男

Hideo TAKAHASHI・横浜市南区 長谷川義人 Yoshihito HASEGAWA)